

進路指導のたより 第1号

栃木県立富屋特別支援学校 鹿沼分校 進路指導係

日頃より、本校の教育活動に対し、御理解、御協力をいただき、ありがとうございます。

また、6月に行いました進路希望調査では、具体的な進路に関する御意見や疑問等を御記入いただき、ありがとうございました。

◆校内実習◆

5月26日(月)から6月6日(金)までの2週間、中学部では第1回目の校内実習が行われました。今年度は全員が空き缶班で、終日作業学習を行いました。

中学部校内実習の目的の一つとして、『実習を通して社会生活に必要な基本的な態度を養う。』があります。基本的な態度とは、衣服の着脱、整理整頓、日課に沿って活動をする、作業を最後までやり通す、健康・安全に注意する、などを指します。この目的を基本として、生徒は個別に目標を立て、二週間取り組みました。特に1年生は初めての校内実習で、エプロンや手袋の着用などの身だしなみから学びました。二週間の実習を通してできたこと、難しかったことを自分自身で受け止め、次のステップにつなげていきます。



<空き缶班>

アルミ缶をつぶす作業では、つぶすまでの行程を細かく分け、自分の役割に責任をもって作業に取り組みました。つぶしたアルミ缶は愛隣福祉センター様に回収に来ていただきました。

《一例ですが、校内実習の生徒の目標です。》

- ・仕事に慣れる。・続けて作業に取り組む。・自分から質問をする。・相手の顔を見て報告する。
- ・準備や身支度を一人でやる。 などでした。

今の自分に何ができるか、どんなことができるようになりたいか、などを教師と相談しながら目標を立てました。

《実習終了後の保護者の方の感想》

- ・今回は、家で自分からしおりを見せてくれたり、頑張ったか聞くと「うん」と言ったりして、やる気が感じられました。次回も前向きに取り組んでくれたらいいなと思います。
- ・副班長の仕事も頑張ったことは、本人にとってとても自信になったと思います。

保護者の方の励ましや称賛が生徒たちの意欲になります。また、自分で考えて行動し、自分が思い描いた成果を得たときに自己肯定感が生まれます。それらが生徒の力となり、主体的に学び、進路を決定する力につながっていきます。

◆小学部段階で身に付けておきたい力◆

小学部段階で身に付けておきたい力として、基本的な生活習慣の習得が挙げられます。

①挨拶や返事

挨拶は、学校でも社会でも、よりよい人間関係を築く基礎になります。「おはようございます」「さようなら」「はい」、会釈、手を挙げる、笑顔など、自分からできるようになるとよいと思います。また、感謝の気持ちを伝えること、素直に謝ること、分からないときに聞くことなどができるようになると、社会に出てからも職場の人と協力して仕事ができるようになります。今年度から小学部では挨拶運動週間に各クラスを回り挨拶する取り組みを行っています。御家庭でも取り組んでいただけたらと思います。



②健康な身体作り

健康でいることは、将来、休まずに仕事に行くことにつながります。そのためには、早寝早起き、バランスのよい食事、適度な運動など、健康を維持する習慣を身につけておきましょう。生活リズムを整え、自分に合った健康的な生活を続けていきましょう。

③自分の役割に取り組む

洗濯や掃除、食事などの中から、お子さんが簡単にできる手伝いから始め、徐々に家庭での役割として取り組めるとよいと思います。自分でできたという達成感を得られるとともに、「ありがとう」と感謝されることで、自分がみんなの役に立っていると感ずることができ、将来の働く意欲につながっていきます。

④清潔を保ち、身だしなみを整える

人の第一印象の55%は見た目で見るといわれる統計もあります。制服や運動着を正しく着用することはもちろん、頭髪、顔、体、爪などを清潔にしておくことが大切です。

◆卒業生の進路状況◆

【令和6年度鹿沼分校中学部卒業生の進路状況】

●令和6年度鹿沼分校中学部卒業生 進学・・・16名

栃木特別支援学校高等部・・・8名

今市特別支援学校高等部・・・5名

のぞわ特別支援学校、宇都宮青葉高等学園、茨城県日立市立特別支援学校・・・各1名

【令和3年度鹿沼分校中学部卒業生の高等部卒業後の進路状況】

・就労継続支援B型スリールラボ・・・1名

◆事業所の移転のご案内◆

・CCVダック（令和7年6月1日移転）

栃木県鹿沼市上野町312-5

進路に関する相談や質問がある場合には、担任を通してお伝えください。連絡帳でお答えしたり、保護者会や進路だより等で情報を提供したりしていきたいと思っております。